

原著

1. Atsukawa M, Tsubota A, Kondo C, Shioda-Koyano K, Ishikawa T, Toyoda H, Takaguchi K, Watanabe T, Matsuura K, Ogawa C, Hiraoka A, Okubo H, Tateyama M, Uojima H, Nozaki A, Chuma M, Kato K, Mikami S, Tani J, Morishita A, Kawata K, Tada T, Furuichi Y, Okubo T, Kawano T, Arai T, Kawabe N, Kawamura N, Ikegami T, Nakamuta M, Iwasa M, Tanaka Y, Hatano M, Iwakiri K. Risk factors for portopulmonary hypertension in patients with cirrhosis: A prospective, multicenter study. *Hepatol Int* 7, 139-149, 2023. I
2. Tanaka H, Sugo H, Iwanaga N, Machida M, Watanobe I, Okubo H, Hotchi S, Ogura K. Mixed neuroendocrine carcinoma and hepatocellular carcinoma in the liver. *Cancer Reports. Cancer Rep (Hoboken)* 6; e1772, 2023
3. Jing Z, Iba T, Naito H, Xu P, Morishige J, Nagata N, Okubo H, Ando H. L-Carnitine prevents lenvatinib-induced muscle toxicity without impairment of the anti-angiogenic efficacy. *Front Pharmacol* 14:1182788, 2023.
4. Saeki M, Okubo H, Takasaki Y, Nakadera E, Fukuo Y, Fukada H, Hotchi Y, Maruyama H, Kokubu S, Shiina S, Nagahara A, Ikejima K. The impact of partial splenic embolization on portal hypertensive gastropathy in cirrhotic patients with portal hypertension. *J. Clin. Med* 12:2662, 2023, IF:3.9
5. Nishioki T, Koyama R, Okubo H (Corresponding author), Fukuo Y, Takasaki Y, Yae T, Banno T, Kido K, Takahashi K, Shiina S, Ikejima K. Endobronchial Watanabe Spigot Placement for Hepatic Abscess and Bronchobiliary Fistula Following Radiofrequency Ablation for Hepatocellular Carcinoma: A Case Report. *Intern Med.* 2023 Apr 1;62(7):999-1004.
6. Ito K, Takasaki Y, Fujisawa T, Ishii S, Tomishima K, Takahashi S, Ikoma I, Jimbo Y, Ota H, Kabemura D, Ikemura M, Ushio M, Fukuma T, Suzuki A, Isayama H. Current Situation and Problems in Diagnosis of Early Chronic Pancreatitis. *Pancreas.* 2023 May 1;52(5):e275-e281.
7. Abe D, Akazawa Y, Yatagai N, Hayashi T, Ueyama H, Mine S, Fukunaga T, Nagahara A, Yao T, Saito T. Clinicopathological characteristics of gastric adenocarcinoma with enteroblastic differentiation and gastric adenocarcinoma with enteroblastic marker expression. *Virchows Arch.* 2023 Sep;483(3):405-414.
8. Okuaki T, Takahashi S, Isayama H. Successful electronic hydraulic lithotripsy for a stent-stone complex causing gastric output obstruction formed by an anti-migration system of a self-expandable metallic stent. *J Hepatobiliary Pancreat Sci.* 2023 Sep;30(9):e68-e70.
9. Takahashi S, Fujisawa T, Isayama H. Trans-delivery system injection method for deployment of a lumen-apposing metal stent in a walled-off necrosis occupied by massive necrotic tissue. *Dig Endosc.* 2023 Nov;35(7):e134-e135.
10. Ko Tomishima , Akinori Suzuki, Koichi Ito, Shigeto Ishii , Toshio Fujisawa , Yuki Fukumura, Hiroyuki Isayama . Remarkable tumor shrinkage in hilar biliary cholangiocarcinoma confirmed by peroral cholangioscopy following neoadjuvant chemotherapy . *Endoscopy.* 2024 Dec;56(S 01):E85-E86. doi: 10.1055/a-2234-4355. Epub 2024 Jan 30.
11. Ko Tomishima , Yuki Fukumura, Hiroyuki Isayama. Case of hilar cholangiocarcinoma with a distal skip lesion detected by cholangioscopy. *Dig Endosc.* 2024 Apr;36(4):497-498. doi: 10.1111/den.14757. Epub 2024 Feb 20

総説

1. 大久保 裕直, 池嶋 健一:【肝疾患-診療のチェックポイント2023】(第I部)診断のチェックポイント(第2章) 肝機能検査を読むときのチェックポイント ビリルビンの異常をみたとき(解説). 臨床消化器内科(0911-601X)38 巻7号 Page738-742(2023.06)
2. 伊藤光一: スtent治療の有用なテクニック. EUS-BD,EUS-PDD 後の Re-intervention テクニック(解説). 胆と膵, 2023; 44 (臨増特大) : 1317-1322. (2023.10)

報告

1. 豊中 亮介, 荒牧 修, 吉田 直樹, 村井 海輝, 大荷 澄江, 大久保 裕直, 山下 裕玄, 岡村 行泰: Atezolizumab-Bevacizumab 療法後に conversion surgery を行った肝細胞癌の1例. 日本臨床外科学会雑誌(1345-2843)84 巻9号 Page1491-1497(2023.09)

学会発表

国際学会

1. 大久保裕直: Serum aldolase predicts dose reduction or interruption of cabozantinib in patients with hepatocellular carcinoma. APASL Oncology 2023, Sendai, 2023年10月27日
2. 大久保裕直: Difficulty in adjusting the dose modification of cabozantinib in hepatocellular carcinoma. APASL 2024, Kyoto, 2024年3月29日
3. 大久保裕直: Efficacy of partial splenic embolization on portal hypertensive gastropathy in cirrhotic patients. APASL 2024, Kyoto, 2024年3月30日

国内学会

1. 福生有華: シンポジウム9 炎症性腸疾患診療の最前線「クローン病の疾患活動性モニタリングにおける便中カルプロテクチンの前向き研究」. 第109回日本消化器病学会総会, 長崎, 2023年4月7日
2. 大久保裕直, 福生有華, 中寺英介: 薬物動態を考慮に入れた肝細胞癌カボザンチニブ治療. 第59回日本肝臓学会総会, 奈良, 2023年6月15日
3. 大久保裕直, 福生有華, 中寺英介: ワークショップ 肝疾患における有害事象をめぐる諸問題(薬物性肝障害を含めて) カルニチン変動に着目した肝細胞癌分子標的薬治療における有害反応. 第59回日本肝臓学会総会, 奈良, 2023年6月16日
4. 二見奏音, 福生有華, 奥秋匠, 山内友愛, 阿部大樹, 高橋翔, 伊藤光一, 山科俊平: 研修医セッション 腸管子宮内膜症によりS状結腸に狭窄をきたし手術を要した1例. 第376回例会日本消化器病学会関東支部第376回例会, 東京, 2023年9月2日
5. 大久保裕直, 椎名秀一朗, 池嶋健一: ワークショップ 肝癌治療における栄養評価と介入の意義, レンバチニブ起因性筋障害に対するカルニチン補充の意義. 第27回日本肝臓学会大会, 神戸, 2023年11月2日
6. 大久保裕直: 肝癌 ablation 治療における臨床検査技師とのタスクシフト. 第27回日本肝臓学会大会, 神戸, 2023年11月3日
7. 大久保裕直: PK/PD からみた肝細胞癌カボザンチニブ治療. 第27回日本肝臓学会大会, 神戸, 2023

年 11 月 3 日

8. 福生有華, 奥秋匠, 山内友愛, 阿部大樹, 高橋翔, 伊藤光一, 山科俊平, 澁谷智義, 永原章仁: 一般演題 血球除去療法の上乗せ効果の有効性. 第 14 回炎症性腸疾患学会, 神戸, 2023 年 12 月 1 日
9. 大久保裕直: ミトコンドリア機能に着目した肝細胞癌分子標的薬治療マネジメント. 第 45 回日本肝臓学会西部会, 京都, 2023 年 12 月 8 日
10. 大久保裕直: 肝細胞癌カボザンチニブ治療における減量・休薬のサロゲートマーカーの探索. 第 45 回日本肝臓学会西部会, 京都, 2023 年 12 月 8 日
11. 大久保裕直: 肝細胞癌に対するデュルバルマブ・トレメリムマブ療法を施行して無症候性膵酵素上昇をきたした 2 例. 第 45 回日本肝臓学会西部会, 京都, 2023 年 12 月 8 日
12. 大久保裕直: 肝細胞癌に対する LEN-TACE sequential 療法の実際. 第 45 回日本肝臓学会西部会, 京都, 2023 年 12 月 8 日

研究会発表

1. 福生有華: 杏林製薬 区西部北部エリア IBD 医療連携講演会 パネリスト. 2023 年 4 月 19 日
2. 大久保裕直: カルニチン補充によるレンバチニブ起因性筋障害改善効果. 第 28 回日本肝がん分子標的治療研究会, 札幌, 2023 年 6 月 24 日
3. 大久保裕直: 肝細胞癌カボザンチニブ治療: 用量・曝露量からみた検討. 第 28 回日本肝がん分子標的治療研究会, 札幌, 2023 年 6 月 24 日
4. 伊藤光一: Johoku Pancreaticobiliary Conference (旭化成) 「胃全摘後の急性胆管炎の一例」. 東京, 2023 年 6 月 30 日
5. 大久保裕直: 薬物動態を考慮に入れた肝細胞癌カボザンチニブ治療. 第 27 回日本肝癌研究会, 大阪, 2023 年 7 月 27 日
6. 大久保裕直: 肝癌 RFA 治療における臨床検査技師とのタスクシフト, タスクシェア. 第 27 回日本肝癌研究会, 大阪, 2023 年 7 月 27 日
7. 伊藤光一: 城北・朝霞地区・蕨戸田 胆膵懇話会 (ガデリウスメディカル) 「診断に苦慮した胆管炎の一例」. 池袋, 2023 年 11 月 9 日
8. 福生有華: 持田製薬『新たな炎症性腸疾患治療について考える会』パネリスト. 2023 年 11 月
9. 大久保裕直: Lenvatinib AE マネジメント 最新の知見. 2023 年度東京・神奈川肝がん研究会, 2023 年 12 月 16 日
10. 大久保裕直: 肝細胞癌 RFA 後気管支胆管瘻に対して Endobronchial Watanabe Spigot を用いた気管支充填術が有用であった一例. 第 2 回日本アブレーション研究会, 岡山, 2024 年 2 月 10 日
11. 大久保裕直: 肝癌 RFA 治療における検査技師へのタスクシフト～透明性・客観性の高い穿刺手技をめざして～. 第 52 回超音波ドプラ・新技術研究会, 東京, 2024 年 3 月 9 日

特別講演、招待講演、教育講演

1. 福生有華: 武田薬品工業株式会社 IBD 医療連携 WEB セミナー 講演 「IBD 診療 内科の立場から」講演. 2023 年 5 月 16 日
2. 大久保裕直: 「LEN-TACE 療法の有用性～AE マネジメントを含めて～」. 肝細胞癌治療における切除の適応を内科・外科で考える会, Web, 2023 年 5 月 18 日

3. 大久保裕直：一肝胆膵疾患の既存治療における根治・長期予後を考えるー「免疫療法時代におけるレンバチニブを含めた集学的治療戦略」. 第7回 Meet The Expert Forum 首都圏連携を考える会, Web, 2023年5月19日
4. 大久保裕直：「非専門医が知っておくべき脂肪肝診療」. KOWA Web Conference, 2023年5月24日
5. 大久保裕直：「外科医が知っておきたい肝細胞癌薬物治療」. 第45回日本癌局所療法研究会 スポンサーサードセミナー, 東京, 2023年6月2日
6. 大久保裕直：「薬物動態から考える肝細胞癌カボザンチニブ治療」. 第28回日本肝がん分子標的治療研究会 イーブニングセミナー, 札幌, 2023年6月23日
7. 大久保裕直：「ここまで変わった！ 驚きのC型肝炎治療」. たいとう学術講演会, 東京+Web, 2023年7月5日
8. 大久保裕直：つなぐ肝癌治療～薬物療法 Best Sequence を考える～経験から得られたカボザンチニブの特徴と位置づけ～薬物動態を考慮したマネジメント～. Web, 2023年8月29日
9. 大久保裕直：Future multidisciplinary treatment strategy utilizing Lenvatinib in hepatocellular carcinoma 'Future use of LEN-TACE and AE management in patients with HCC'. 3rd JSH International Liver Conference 2023, Tokyo, 8 Sep 2023
10. 大久保裕直：薬理的観点からみたHCV DAA s 治療～DDIの重要性～. G-STATION Plus エプクルーサ特別番組, Web, 2023年9月11日
11. 福生有華：EA ファーマ IBD 診療における消化器内科と消化器外科の連携 講演「IBD 診療における内科治療とその限界」. 2023年9月12日
12. 大久保裕直：プロテアーゼ阻害剤を含むレジメンでのC型肝炎治療におけるEOB-MRIによる薬物動態・副作用予測の可能性. 石川県臨床薬学 Web セミナー, 2023年10月13日
13. 福生有華：EA ファーマ IBD 診療に携わる医療関係者のための Basic Seminar 演者 IBD 診療事始め. 2023年10月
14. 大久保裕直：今さら聞けないウイルス肝炎診療. Special Lecture for Hepatology, Web, 2023年11月8日
15. 大久保裕直：切除不能肝細胞癌に対する複合免疫療法～抗 VEGF 剤フリーのメリット～. Tokyo Immune-Oncology Expert Symposium, Web, 2023年11月22日
16. 大久保裕直：変化しつつある肝癌診療～早期発見から最新治療まで～. 第55回栃木県北消化器病懇話会, 2023年11月24日
17. 大久保裕直：「薬物動態からみたHCV DAA 治療」. 第37回肝類洞壁細胞研究会学術集会 アフタヌーンセミナー, 2023年12月16日
18. 大久保裕直：「LEN-TACE から考える Lenvatinib の有効性・安全性」. 分子標的治療を考える会, Web, 2024年1月16日
19. 阿部大樹：練馬区医師会学術部消化器懇話会 (講演). 2024年1月22日
20. 大久保裕直：「LEN-TACE 療法の有用性～AE マネジメントも含めて～」肝細胞癌における切除の適応を内科・外科で考える会, web, 2024年1月23日
21. 大久保裕直：「肝癌薬物療法全盛時代に考える薬物動態からみたHCV DAA 治療」. 第29回日本肝がん分子標的治療研究会 ランチョンセミナー, さいたま市, 2024年1月27日
22. 大久保裕直：「今さら聞けない肝細胞がん薬物療法」. がん化学療法における地域連携充実のための

研修会，web，2024年3月5日

23. 大久保裕直：「C型肝炎治療最前線～DAA使用時の薬物相互作用～」．第6回城北肝疾患セミナー，東京，2024年3月7日

その他（座長、司会、地域連携、メディア出演）

1. 大久保裕直：HCC Expert Seminar 2023 座長，Web，2023年7月7日
2. 大久保裕直：ポスター4 「化学療法2」座長．第27回日本肝癌研究会，大阪，2023年7月27日
3. 福生有華：持田製薬株式会社 新たな炎症性腸疾患診療について考える会 座長．2023年8月25日
4. 大久保裕直：Intermediate stage HCC の治療戦略を考える会 特別講演座長．2023年9月27日
5. 大久保裕直：ニッポン放送 『ひろたみゆ紀のサンデー早起き有楽町』肝がん．2023年10月8日
6. 福生有華：EA フェーマ クローン病について考える会 座長．2023年10月13日
7. 大久保裕直：テーマ：複合免疫療法の適正使用を考える 司会．Bunkyo HCC Seminar，Web，2023年11月29日
8. 大久保裕直：Discussion ファシリテーター．Asahi Chronic liver Disease seminar in Tama，2024年3月4日
9. 大久保裕直：主題演題Ⅱ「貴施設の超音波を用いた穿刺手技への Deep Affection」司会．第52回超音波ドプラ・新技術研究会，東京，2024年3月9日